

鳥取県立図書館からの報告

(対象期間：平成 28 年 1 2 月～平成 29 年 9 月)

(報告者) 鳥取県立図書館
郷土資料課 佐藤 紘一

1. 資料展示

種別	期間	形態	タイトル
ミニ展示	H28. 12. 1～12. 9	協力	『鳥取県まるごと読本』改訂版出版記念—ジゲおこしから、地域創生トトリリズム県民運動へ—
ミニ展示	12. 9～12. 27	協力	鳥取県出版文化賞 2016
ミニ展示	H29. 4. 1～4. 30		新年度 見て知って鳥取のこと
ミニ展示	4. 4～4. 30		自由律俳人 放哉／館蔵資料の紹介展示 ※4 月 7 日
ミニ展示	5. 12～6. 7		阪本四方太 命日によせて ※5 月 16 日
ミニ展示	8. 1～8. 30		戦後 72 年 戦争と平和を考える
ミニ展示	9. 1～9. 29		とっとり県民の日関連展示 鳥取県再置に力を尽くした人々
企画展示	H28. 12. 1～12. 27		源氏物語と池田亀鑑 ※一般図書室と共同
企画展示	H29. 2. 10～2. 27	外部	鳥取じまん展～鳥取の陶芸～
企画展示	2. 14～3. 8		追悼・谷口ジロー ※2 月 11 日
企画展示	6. 9～7. 30		翻訳されるマンガの世界
企画展示	9. 1～9. 29	連携	鳥取大地震の記録展
特別展示	H29. 1. 21～2. 27		【特別資料展】伊良子清白をめぐる—漂泊の詩人が書き留めた日記— (伊良子清白生誕 140 年記念事業)
特別展示	4. 26～5. 30	共催	ハッキョイ！石浦関～郷土ゆかりの力士展～
特別展示	7. 22～9. 3		【特別資料展】鳥取の女性文学史抄—真に生きた「新しき女」たちの情熱と苦闘—
協力展示	H29. 3. 3～3. 26	協力	鳥取県出版文化賞～40 年の歩み展～

※郷土資料を利用した一般図書室主体の展示を除く

2. 行事

(1) 郷土文化講演会 (年 1 回開催)

日時：平成 29 年 2 月 18 日 (土曜日) 午後 2 時から 4 時

演題：「流離と純化—詩人 伊良子清白をめぐる—」

講師：伊良子 序 氏 (伊良子清白の孫、元神戸新聞社論説委員)

(2) 文字・活字文化の日記念講演会 (ブックインとっとり記念講演会) (年 1 回開催)

日時：平成 29 年 10 月 29 日 (日) 予定 ※10 月 24 日～30 日、県立図書館を会場に関連図書を展示

(3) ミニ講座「源氏物語の魅力を語る ～池田亀鑑生誕 120 年～」

日時：平成 28 年 12 月 12 日 (月)

講師：中永 広樹 氏 (元高校教諭、元県教育長)

(4) 鳥取県に伝わる昔話を聞く会（定期開催）

日時：毎月第 4 土曜日 午後 2 時から 30 分程度

語り手：中嶋須美子氏

3. 研修等

(1) 図書館職員実務研修会 平成 29 年 4 月 21 日開催

年度初め、県内図書館の新任職員等を対象にした研修会で、「本の正しい扱い方と郷土資料の活用
法」をテーマにした講義を行った。

(2) 行政職員向け研修「図書館に学ぶ！1 ランク上の情報収集講座」 平成 29 年 7 月 19 日・20 日開催

県及び県内自治体職員の研修カリキュラムに図書館を活用した情報収集講座が設定され、その中で郷
土資料の活用法についての講義を行った。（参加者 64 名）

(3) 鳥取県ジュニア司書養成講座 平成 29 年 8 月 3 日～10 日開催

小・中学生を対象とした「ジュニア司書」養成講座の中で、郷土資料や郷土資料室についての実習・
講義を行った。

(4) 館内職員向け研修

平成 29 年 1 月 鳥取県の郷土や人物を知るために

平成 29 年 6 月 所蔵新聞について

4. 発行物

(1) 「郷土出身文学者シリーズ 11 鳥取ゆかりの女性文学者」の刊行（平成 29 年 3 月）

鳥取県ゆかりの文学者についてわかりやすく紹介する冊子を平成 16 年度から毎年刊行している。

28 年度は、鳥取県にゆかりのある女性文学者 3 名（田中古代子、岡田美子、生田花世）を取り上げ
1 冊にまとめた。

29 年度は、好評を得た『文学の情景』の増補版を刊行予定。

(2) 「郷土学習ガイド」（パスファインダー）のテーマ追加

今年度までに全 30 テーマを作成。修正等を行い、ホームページも更新。

※県立図書館のメールアドレス変更に伴い、全ガイドの修正

5. 資料提供、収集、保存等

(1) 資料提供

・貸出図書延べ点数：7,596 点（23.4 点／日）

・個人情報に記載する資料について、住宅地図（過年度発行版）の閲覧に係る申込書様式を他の閉架
資料閲覧申込様式に統一

(2) 図書、雑誌、逐次刊行物等の収集（通年）

・郷土資料 138,424 冊（点）所蔵（28 年度末）

28 年度増加冊数 3,456 冊（購入 712 冊、寄贈 2,813 冊、生産 59 冊、他 55 冊、除籍 183 冊）

・雑誌、地域情報誌・パンフレット・会報類等逐次刊行物も積極的に収集

・国会図書館所蔵マイクロ資料の複製資料

※資料収集方針（28 年度改定）、資料保存方針（29 年度改定）、資料除籍要領（28 年度改定）

(3) 資料保存

- ・複製資料（電子複写物による簡易製本）の整備
- ・マイクロフィルム化対象新聞の保管・・・次年度にマイクロ化予定

（４）郷土関係情報の入力・蓄積（通年）

- ①「郷土人物文献データベース」の新規文献情報登録
- ②ホームページの更新

郷土資料室での展示・行事の広報、ホームページ掲載郷土関係情報

- ③図書、雑誌、研究報告等の目次・論文名登録
- ④一般図書・雑誌の郷土関連情報登録
- ⑤新聞記事等スクラップ

地元紙・全国紙から鳥取県に関する幅広い分野の記事・連載を切り抜き、テーマや連載別にスクラップしている。

（５）デジタル化の検討

平成 28 年度から郷土資料を含む図書館資料のデジタル化の検討を開始。29 年度は、「総合的なデジタル化計画」の策定を進め、予算面の検討を行った。次期「鳥取県立図書館の目指す図書館像（改訂版）」に「デジタル化時代の知の拠点づくり」等の項目を設ける予定である。